

実務経験のある教員等による授業科目の

授業計画書（シラバス）

《省令で定める単位数等の基準数相当分》

～ペット総合学科～

（動物看護コース）

科目名	ビジネスマナー1		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・接客の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の指導を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本 (実践ビジネスマナー)、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
□ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
□ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
□ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
□ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画 (全体)	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返して授業を行います。 応対は模擬対応機を使用し、実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導してまいります。							
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1~2	第1章 社会人としての心構え1 (接客の基本理念・お礼/礼儀・CS思考)							
3~4	第1章 社会人としての心構え2 (報告・連絡・相談), 3							
5~6	第3章 言葉遣いの基本 1 (日本語の特性、接客8大用語、クッション言葉)							
7~8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9~10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11~12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13~14	第5章 電話応対 1, 2 資料編1 発声練習、2 滑舌の練習							
15~16	第5章 電話応対 2, ロールプレイング3							
17~18	第5章 電話応対 3, 4							
19~20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21~22	第5章 電話応対 5, ロールプレイング5							
23~24	第5章 電話応対 ケーススタディ3							
25~26	第5章 電話応対 6, (クレーム対応)							
27~28	第5章 電話応対 6, (Eメール)							
29~30	前期試験実施							
成績評価方法	1 期末試験 (筆記) と出席率 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎			秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○						優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								() 内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	企業や業界団体などでのビジネスマナー指導に当たる。日本電信電話ユーザ協会 電話応対検定指導者候補保持。			

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。 							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について(テ キスト・参考書等)	教本(実践ビジネスマナー)、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画(全体)	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを繰り返し行います。 の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用する際のロールプレイングも実施します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。					名刺交換		
授業計画(授業単位)								
回数/日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1~2	第4章 来客応対 1, 2							
3~4	第4章 来客応対 ロールプレイング1							
5~6	第4章 来客応対 4, ロールプレイング2							
7~8	第4章 来客応対 5, ケーススタディ1							
9~10	第4章 来客応対 6							
11~12	第4章 来客応対 7, 9, 10							
13~14	第4章 来客応対 8, ケーススタディ2							
15~16	第6章 訪問のマナー1, ロールプレイング6							
17~18	第6章 訪問のマナー2							
19~20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7、名刺							
21~22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3							
23~24	資料編4, 5							
25~26	ビジネス文書							
27~28	個人情報保護法							
29~30	後期試験実施							
成績評価方法	1 期末試験(筆記)と出席率 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S(4):90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A(3):80点以上
宿題/授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度							評価なし	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習							評価なし	未修得・履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	企業や業界団体などでのビジネスマナー指導に当たる。日本電信電話ユーザ協会 電話応対検定指導者級保持。			

科目名	ドッグトレーニング	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	犬のしつけ(実技)を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)								
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる <input type="checkbox"/> 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる							
授業計画(全体)	座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う							
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1~4	犬の本能について(座学)							
5~8	犬の習性について(座学)							
9~12	「歩く」練習 1							
13~16	「歩く」練習 2							
17~20	「歩く」練習 3							
21~24	「触る」練習 1							
25~28	「触る」練習 2							
29~32	実技試験							
成績評価方法	1単元末の実技試験 2授業態度や積極性 3出席率 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80	秀、S(4):90点以上
小テスト								優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2):70点以上
授業態度	○				◎		10	可、C(1):60点以上
発表・作品								不可、E(0):59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			10	()内はG.P.点数
担当教員	未岡 賢志		実務経験紹介	訓練士歴 19年 ドッグスクールSue http://dogschool.sue.com/				

科目名	動物看護学概論Ⅰ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、 目標とする資格・検定 等)	動物業界で扱うことの多い犬と猫についての知識を深める。正常や正しい扱いを知ることで、今後の安全な実習につなげる。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬と猫の違いがわかり、安全な扱いがわかる							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	動物看護の教科書1～6(緑巻房)							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	犬と猫の違いがわかり、正常を知る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	正しい扱い方を自ら実行できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	犬と猫に興味を持ち、自ら進んで調べることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	犬や猫と積極的に関わることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
テキストを用いて進める。扱うことの多い犬や猫の違いを学び、その後それらの動物について深く学んでいく。動物看護の観点から、トリマーも出会うであろう医療的な現場についても学んでいく。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1～2	動物看護学とは							
3～4	犬とは							
5～6	猫とは							
7～8	犬と猫の違い							
9～10	犬と猫の違い							
11～12	適切な飼育							
13～14	犬と猫の行動学							
15～16	正常(バイタル)							
17～18	保定法							
19～20	保定法							
21～22	季節に合わせた飼育法と注意							
23～24	季節に合わせた飼育法と注意							
25～26	高齢動物の管理							
27～28	救急救命							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S(4):90点以上
小テスト								優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2):70点以上
授業態度								可、C(1):60点以上
発表・作品								不可、E(0):59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数
担当教員	引地 舞			動物病院勤務歴12年 認定動物看護師				

科目名	動物看護学概論Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年生後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	身近な医療から学んでいく。患者として出会う動物医療を学ぶことで、動物医療に興味を持つ。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	1)一般的な動物看護について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 身近な医学医療に興味を持つ <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 動物が受ける医療に関心を持ち知ろうとすることができる <input type="checkbox"/> 態度の観点 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点							
授業計画（全体）	テキストを用いて進める。身近な医学から学んでいく。自分の周りにあるものから学び、自分や動物たちが受ける医療についてを知る。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1～2	薬剤の形状							
3～4	薬剤の形状							
5～6	身近な薬剤の種類							
7～8	身近な薬剤の種類							
9～10	注射法と薬剤							
11～12	注射法と薬剤							
13～14	点滴法と薬剤							
15～16	点滴法と薬剤							
17～18	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法1							
19～20	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法2							
21～22	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法3							
23～24	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法4							
25～26	疼痛管理（ペインスケール）とは							
27～28	疼痛管理について							
29～30	単元末試験							
成績評価方法	1単元末試験 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 認定動物看護師				

科目名	動物外科看護学 I	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定)	動物病院で必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	1)外科に必要な検査について知る 2)手術準備について知る							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	動物看護の教科書 1～6 (緑書房)							
授業の到達目標	<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点 動物病院における外科領域に対応できる <input type="checkbox"/> 思考・判断の観点 外科疾患において必要な検査のチョイスができる <input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 外科疾患について関心を持つ <input type="checkbox"/> 態度の観点 <input type="checkbox"/> 技能・表現の観点							
授業計画 (全体)	テキストを用いて進める。各項目で必要な器具を示しながら、実際の使い方なども説明する。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～2	外科とは							
3～4	レントゲン検査							
5～6	レントゲン検査							
7～8	レントゲン検査							
9～10	エコー検査							
11～12	エコー検査							
13～14	確認テスト							
15～16	消毒法							
17～18	縫合							
19～20	外科器具							
21～22	外科手術の流れ							
23～24	麻酔管理							
25～26	麻酔モニタリング							
27～28	麻酔モニタリング							
29～30	単元末試験							
成績評価方法	1単元末試験 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				100%	秀、S (4) : 90点以上
小テスト								優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数
担当教員	鈴木 和弘	実務経験紹介		ナナ動物病院 院長				

科目名	動物外科看護学Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物病院で必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物病院における外科対応について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	外科領域について学んだことを実行できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	外科領域において学んだことを用い病院で活用できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	外科領域において関心を持っている							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	救急対応及び運動機能障害などについてテキストを用いて進める。また、手術助手についても学び、看護師の役割を学ぶ。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1～2	救急対応 エマージェンシー							
3～4	救急対応 エマージェンシー							
5～6	救急対応 エマージェンシー							
7～8	救急対応 エマージェンシー							
9～10	救急対応 輸血							
11～12	救急対応 輸血							
13～14	救急対応 中毒							
15～16	リハビリテーション							
17～18	リハビリテーション							
19～20	神経機能障害							
21～22	運動機能障害							
23～24	手術助手							
25～26	手術助手							
27～28	単元末試験							
29～30	解答解説							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	鈴木 和弘		実務経験紹介	ナナ動物病院 院長				

